

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成21年11月10日

**【四半期会計期間】** 第69期第1四半期(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

**【会社名】** 日機装株式会社

**【英訳名】** NIKKISO CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 甲 斐 敏 彦

**【本店の所在の場所】** 東京都渋谷区恵比寿3丁目43番2号

**【電話番号】** 03 - 3443 - 3711 (代表・番号案内)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部長 西 脇 章

**【最寄りの連絡場所】** 東京都渋谷区恵比寿3丁目43番2号

**【電話番号】** 03 - 3443 - 3711 (代表・番号案内)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理本部長 西 脇 章

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成21年8月10日に提出いたしました第69期第1四半期（自平成21年4月1日至平成21年6月30日）四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第2 事業の状況

##### 4 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

###### (1) 経営成績の分析

###### (2) 財政状態の分析

#### 第5 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

###### 注記事項

###### (重要な後発事象)

##### 2 その他

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_を付して表示しております。

### 第一部 【企業情報】

#### 第2 【事業の状況】

##### 4 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

###### (1) 経営成績の分析

###### (訂正前)

当第1四半期は、依然として世界同時不況の影響が残る厳しい事業環境であり、受注高が14,045百万円（対前年同四半期比16.0%減）となり不透明な状況が続いています。

（中略）

所在地別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

（中略）

###### <ヨーロッパ>

ヨーロッパ地域では、ポンプ関連の子会社の事業を持分法適用の合併会社に譲渡する一方で、前期に不良債権処理を行ったメディカル関連の子会社の業績が回復しており、売上高は1,763百万円（対前年同四半期比11.9%減）、営業利益は前期の営業損失から黒字転換してプラス22百万円（同128.6%増）となりました。

（後略）

(訂正後)

当第1四半期は、依然として世界同時不況の影響が残る厳しい事業環境であり、受注高が14,045百万円(対前年同四半期比16.0%減)となり不透明な状況が続いています。

(中略)

所在地別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(中略)

<ヨーロッパ>

ヨーロッパ地域では、ポンプ関連の子会社の事業を持分法適用の合併会社に譲渡する一方で、前期に不良債権処理を行ったメディカル関連の子会社の業績が回復しており、売上高は1,763百万円(対前年同四半期比11.9%減)、営業利益は前期の営業損失から黒字転換してプラス22百万円(前年同四半期は営業損失78百万円)となりました。

(後略)

## (2) 財政状態の分析

(訂正前)

当第1四半期末の資産合計は84,792百万円となり、前期末に比べて1,104百万円増加しています。株価回復による投資有価証券の時価評価額が1,336百万円増加したことが主因です。

(後略)

(訂正後)

当第1四半期末の資産合計は84,792百万円となり、前期末に比べて1,104百万円増加しています。株価回復による投資有価証券の時価評価額等が1,336百万円増加したことが主因です。

(後略)

## 第5 【経理の状況】

### 1 【四半期連結財務諸表】

#### 【注記事項】

#### (重要な後発事象)

(訂正前)

#### 当第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

当社は、平成21年7月6日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるドイツのNikkiso Pumps Europe GmbHを通じて、以下のとおり、ドイツのLEWA Management GmbH(以下「レーバグループ」)の出資持分を取得することを決議し、同日付けで出資持分買取契約を締結いたしました。

#### 1. 持分の取得の理由

LEWA GmbHを中核とするレーバグループは、往復動ポンプの分野で世界トップの市場シェアとブランド力を持つドイツの専門メーカーで、とくにオイル・ガス業界および欧州市場において強力な地歩を築いております。

一方、当社も、往復動ポンプの分野において、一定の技術範囲、用途、顧客層に対して独自の強みを持っております。また、当社は、無漏洩ポンプであるノンシールポンプなどの遠心ポンプの分野で世界トップクラスのポンプ技術と日本・アジアを中心とする主要顧客層との深い関係を持っております。

この両社の技術面および市場面での強みを補完・結合することによって、技術革新と製品ラインアップの充実をもたらすとともに、市場のさまざまなニーズへの的確な対応が可能となり、工業用ポンプ事業の分野において、きわめて大きな将来の成長可能性を獲得できるものと考えております。

(後略)

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間  
(自平成21年4月1日至平成21年6月30日)

当社は、平成21年7月6日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるドイツのNikkiso Pumps Europe GmbHを通じて、以下のとおり、ドイツのLEWA Management GmbH(以下「レーバグループ」)の出資持分を取得することを決議し、同日付けで出資持分買取契約を締結いたしました。

1. 持分の取得の理由

LEWA GmbHを中核とするレーバグループは、往復動ポンプの分野で世界トップクラスの市場シェアとブランド力を持つドイツの専門メーカーで、とくにオイル・ガス業界および欧州市場において強力な地歩を築いております。

一方、当社も、往復動ポンプの分野において、一定の技術範囲、用途、顧客層に対して独自の強みを持っております。また、当社は、無漏洩ポンプであるノンシールポンプなどの遠心ポンプの分野で世界トップクラスのポンプ技術と日本・アジアを中心とする主要顧客層との深い関係を持っております。

この両社の技術面および市場面での強みを補完・結合することによって、技術革新と製品ラインアップの充実をもたらすとともに、市場のさまざまなニーズへの的確な対応が可能となり、工業用ポンプ事業の分野において、きわめて大きな将来の成長可能性を獲得できるものと考えております。

(後略)

2 【その他】

(訂正前)

該当事項はありません。

(訂正後)

平成21年5月21日開催の取締役会において、平成21年3月31日の最終の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

<u>配当金の総額</u>	375百万円
<u>1株当たりの金額</u>	6円00銭
<u>支払請求権の効力発生日及び支払開始日</u>	平成21年6月8日

**【表紙】**

**【提出書類】** 確認書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の8第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成21年11月10日

**【会社名】** 日機装株式会社

**【英訳名】** NIKKISO CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 甲斐敏彦

**【最高財務責任者の役職氏名】**

**【本店の所在の場所】** 東京都渋谷区恵比寿3丁目43番2号

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長 甲斐 敏彦は、当社の第69期第1四半期(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)の四半期報告書の訂正報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認いたしました。

2 【特記事項】

確認に当たり、特記すべき事項はありません。